

2016年3月5日(土) 13:00~17:00
(開場 12:30)

2015年度~2019年度 文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業
龍谷大学里山学研究センター シンポジウム

琵琶湖の保全再生と里山・里湖

さとうみ

人と水との共生にむけて



会場 ピアザ淡海 ピアザホール

主催 龍谷大学里山学研究センター
後援 滋賀県

琵琶湖の保全再生と里山・里湖 人と水との共生に向けて

プログラム

12:30 **開場** <総合司会> 清水万由子 (龍谷大学政策学部准教授)

13:00 **第1部** 開会のご挨拶 三日月大造 (滋賀県知事)

～15:00 オープニングムービー 太田 真人・西脇秀一郎 (龍谷大学里山学研究センター)

・基調講演

嘉田由紀子 (前滋賀県知事 びわこ成蹊スポーツ大学学長)

「文理連携をめざす環境研究者の理想をいかに政策実践にむすびつけたのか？
—琵琶湖研究40年・滋賀県知事8年の経験から—」

・関連講演

岡田 英基 (滋賀県琵琶湖環境部琵琶湖政策課琵琶湖保全再生室長)

「琵琶湖の課題と琵琶湖保全再生法の制定」

・里山学研究センターのプロジェクト紹介

「琵琶湖を中心とする循環型自然・社会文化環境の総合研究

—Satoyamaモデルによる地域・環境政策の新展開—」

① センターの全体構成

牛尾 洋也 (龍谷大学法学部教授)

「里山学研究センター新プロジェクト構想について」

② 第1班「水と生命」

山中 裕樹 (龍谷大学理工学部講師)

「汲んだ水から生物調査 —環境DNA分析による水棲生物の分布推定—」

③ 第2班「食と農」

宮浦 富保 (龍谷大学理工学部教授) 「里山の食とエネルギー」

④ 第3班「人と暮らし」

林 珠乃 (龍谷大学理工学部実験助手) 「琵琶湖水域圏の景観のみかた」

15:00 **第2部 ポスターセッション**

～15:30 「里山・里湖にかかわる多様な研究・取り組み」

15:30 **第3部 パネルディスカッション**

～17:00 「琵琶湖水域圏における人と水との共生にむけて」

<コーディネーター> 牛尾 洋也 (龍谷大学法学部教授)

<パネリスト>

嘉田由紀子 (前滋賀県知事、びわこ成蹊スポーツ大学学長)

大崎 康文 (滋賀県観光交流局副主幹)

山口美知子 (東近江市市民環境部森と水政策課課長補佐)

秋山 道雄 (滋賀県立大学名誉教授)

山中 裕樹 (龍谷大学理工学部講師)

村澤真保呂 (龍谷大学社会学部准教授)

エンディングムービー 太田 真人・西脇秀一郎 (龍谷大学里山学研究センター)・谷口雅治

閉会のご挨拶 田中 滋 (龍谷大学社会学部教授) (敬称略)

三日月大造 滋賀県知事。1971年生まれ、滋賀県出身。1994年、一橋大学経済学部卒業後、西日本旅客鉄道株式会社(JR西日本)に入社。運転士や営業スタッフなどを経験。2002年松下政経塾23期生として入塾。2003年に衆議院議員初当選(4期連続当選)。2009年に国土交通大臣政務官、2010年に国土交通副大臣に就任。2014年より第53代滋賀県知事選に就任。徹底した現場主義の実践を心がけ、対話・共感・協働による県政を推進している。

岡田 英基 滋賀県琵琶湖環境部琵琶湖政策課琵琶湖保全再生室 室長。仕事:琵琶湖保全再生法に関すること。2015年9月28日に「琵琶湖保全再生法」が成立。琵琶湖を保全・再生する動きが、本シンポジウムを契機に、より一層広がることを期待しています。

山口美知子 東近江市市民環境部森と水政策課課長補佐。1972年生まれ、滋賀県出身。1998年に林業技師として滋賀県庁に入庁。2010年から東近江市派遣となり、企画部緑の分権改革課に配属。2012年3月滋賀県を退職し、東近江市職員となる。仕事以外では、滋賀地方自治研究センターびわ湖プロジェクト、一般社団法人kikito等の活動に参加。

牛尾 洋也

龍谷大学法学部法律学科教授。龍谷大学里山学研究センター長。1960年生まれ、大阪府出身。大阪市立大学大学院法学研究科後期博士課程単位取得退学。法学修士。専門分野:民法学

宮浦 富保

龍谷大学理工学部環境ソリューション工学科教授。龍谷大学里山学研究副センター長。1957年生まれ、長野県出身。名古屋大学大学院農学研究科博士課程修了。農学博士。専門分野:森林生態学

田中 滋

龍谷大学社会学部社会学科教授。1951年生まれ、兵庫県出身。京都大学大学院文学研究科博士課程単位取得満期退学。文学修士。専門分野:環境社会学

村澤真保呂

龍谷大学社会学部社会学科准教授。1968年生まれ、福島県出身。京都大学大学院人間・環境学研究科博士後期課程単位取得退学。修士(京都大学)。専門分野:社会思想史

清水万由子

龍谷大学政策学部准教授。1980年生まれ、愛知県出身。京都大学大学院地球環境学舎博士課程修了。博士(地球環境学)。専門分野:環境政策論、環境社会学

山中 裕樹

龍谷大学理工学部環境ソリューション工学科講師。1979年生まれ、滋賀県出身。京都大学大学院理学研究科生物科学専攻博士課程修了。博士(理学)。専門分野:水域生態学

林 珠乃

龍谷大学理工学部環境ソリューション工学科実験助手。1975年生まれ、岐阜県出身。京都大学大学院理学研究科生物科学専攻博士課程修了。博士(理学)。専門分野:生態学

太田 真人

龍谷大学里山学研究センター博士研究員。1985年生まれ、京都府出身。龍谷大学大学院理工学研究科環境ソリューション工学専攻博士後期課程修了。博士(工学)。専門分野:動物生態学

西脇秀一郎

龍谷大学里山学研究センターリサーチアシスタント。1988年生まれ、京都府出身。龍谷大学大学院法学研究科民法専攻博士後期課程。専門分野:民法学

嘉田由紀子 びわこ成蹊スポーツ大学学長。前滋賀県知事。1950年、埼玉県北部の養蚕農家生まれ。京都大学農学部卒業、米ウイスconsin大学大学院修了、京都大学大学院博士後期課程修了。博士(農学)。滋賀県立琵琶湖博物館総括学芸員、京都精華大学人文学部教授を歴任し、2006年滋賀県知事選に当選。2014年の勇退まで公共事業見直しによる財政再建、子育て・女性参画による人口政策、琵琶湖環境政策や原発政策などで新機軸を開いてきた。『いのちにこだわる政治をしよう!』(2013年、風媒社)など著書多数。

大崎 康文 滋賀県観光交流局しがの魅力企画室副主幹。1969年生まれ、滋賀県出身。1991年に京都教育大学を卒業後、滋賀県庁に入庁。財団法人滋賀県文化財保護協会、教育委員会事務局文化財保護課、公益財団法人滋賀県文化財保護協会にて、埋蔵文化財の調査及び普及啓発に従事。2014年から観光交流局を本務とし、文化財を活かした滋賀らしい観光について取り組む。

秋山 道雄 滋賀県立大学名誉教授。1949年生まれ、岡山県出身。大阪市立大学大学院文学研究科博士課程単位取得満期退学。修士(文学)。専門分野:経済地理学、環境政策論。1982年に設立された滋賀県琵琶湖研究所の研究員として赴任。以後、琵琶湖研究と関わる。1995年に滋賀県立大学環境科学部に転任。社会科学分野からの環境研究を継続させる。2015年3月、定年退職。共編著に『環境用水』(2012年、技報堂出版)など多数。

2Fフロア

- PA1 里山学研究センターの紹介 龍谷大学里山学研究センター
- PA2 琵琶湖水域圏の景観を読み解く 外的な視点と内的な視点 ○林 珠乃(龍谷大・理工・里山研)
- PA3、4 里山環境教育の実践: 里山学研究センターの取り組み①、② 谷垣岳人(龍谷大・理工・里山研)
- PA5 環境教育プログラムとしての炭火焼き活動の展開と炭焼きマイスター制度の普及について
:「里山の保全」「二酸化炭素の削減」「防災燃料の確保」を目指して
高桑進(京女大、NPO法人木づかい倶楽部理事長)、松村賢治(NPO法人南太平洋協会理事長)
- PA6 大縮尺空中写真でみる琵琶湖岸の景観変遷 ○中川晃成(龍谷大・理工・里山研)
- PA7 イネの多様性と水田保持策の研究 ○猪谷富雄(龍谷大・農・里山研)
- PA8 薪ストーブ燃焼ガスの触媒によるクリーン化に関する研究
○占部武生(龍谷大・里山研)、水原詞治(龍谷大・理工・里山研)
- PA9 東日本大震災で壊滅的打撃を受けた岩手県陸前高田市のエゾイシカゲガイ養殖～漁師たちとの交流～
○伊達浩憲(龍谷大・経済・里山研)
- PA10 東日本大震災で壊滅的打撃を受けた岩手県陸前高田市の畦畔茶園の再生 ○同上
- PA11 京都府唯一の村・南山城の茶業振興をめざし龍谷大学オリジナル宇治茶『雫』を開発・栽培・販売 ○同上
- PA12 ラムサール条約を活かした湿地保全活動 一世界湿地の日in湖北一 ○須川恒(龍谷大・里山研)
- PA13 伐採の危機に瀕する琵琶湖源流域のトチノキ巨木林
野間直彦、○渡部俊太郎(滋賀県立大)、今城克啓(滋賀県自然環境保全課)、金子有子(東洋大)、前迫ゆり(大産大)、○嘉田由紀子(びわこ成蹊スポーツ大)

3Fフロア

- PB1 琵琶湖の回遊魚と流入河川の河口付近環境
遊磨正秀、丸山敦、山中裕樹(龍谷大・理工・里山研)、太田真人(龍谷大・里山研)
- PB2 景観の違いから見たチョウ類と捕食者の関係
○太田真人(龍谷大・里山研)、東郷有城(龍谷大・院・環境)、遊磨正秀(龍谷大・理工・里山研)
- PB3 森林環境が食性によって分類されたガ類の群集構造に及ぼす影響
○東郷有城(龍谷大・院・理工)、太田真人(龍谷大・里山研)、遊磨正秀(龍谷大・理工)
- PB4 河川におけるオイカワ(*Zacco platypus*)の休息及び摂餌行動と河川内分布
○武村達也、豊福晋作(龍谷大・院・理工)、太田真人(龍谷大・里山研)、遊磨正秀(龍谷大・理工・里山研)
- PB5 滋賀県田上地域における水路草本環境とゲンジボタル成虫の増減
○豊福晋作、武村達也(龍谷大・院・理工)、太田真人(龍谷大・里山研)、遊磨正秀(龍谷大・理工・里山研)
- PB6 里山の開花植物の多様性が訪花昆虫群集の多様性に与える影響
○山田純平(龍谷大・院・理工)、太田真人(龍谷大・里山研)、遊磨正秀(龍谷大・理工・里山研)
- PB7 農業用水路におけるイシガイ類の体長別生息環境
○野村賢吾(龍谷大・理工)、太田真人(龍谷大・里山研)、遊磨正秀(龍谷大・理工・里山研)
- PB8 河川におけるアジメドジョウの行動と河床環境利用
○鶴谷峻之(龍谷大・理工)、武村達也(龍谷大・院・理工)、太田真人(龍谷大・里山研)、遊磨正秀(龍谷大・理工・里山研)
- PB9 環境DNA分析によるチャネルキャットフィッシュ検出系の確率
○本郷真理(龍谷大・院・理工)、山中裕樹(龍谷大・理工)、加納光樹、苅部甚一(茨城大・水圏セ)
- PB10 魚類由来の環境RNA回収 ～抽出手法と放出後の動態について～
○垣見直希(龍谷大・院・理工)、河野吉将、山中裕樹(龍谷大・理工)
- PB11 重要文化的景観とは ～水の利用とくらし～ 谷口雅治(みらいの環境を支える龍谷プロジェクト)
- PB12 世界農業遺産 ○稲葉大輔(みらいの環境を支える龍谷プロジェクト)
- PB13 琵琶湖集水域における公私協働の構築 一琵琶湖疏水と琵琶湖保全再生法一
○眞田章午(龍谷大・院・法)、西脇秀一郎(龍谷大・院・法・里山研)

里山学研究センターとは

龍谷大学里山学研究センターは、2004年度に文部科学省オープンリサーチセンター整備事業として採択されてから、人と自然との共生をめざした文理融合型の研究を3期(11年間)にわたって続けてきました。龍谷大学瀬田キャンパスに隣接する「龍谷の森」を研究フィールドとして、里山維持の伝統的技法や作法を解明し、ここで得た知見を「Satoyamaモデル」として、人と自然との関係に生かす研究を行っています。この度、2015年度文部科学省私立大学戦略的基盤形成支援事業に採択されたことを契機に琵琶湖水域圏を対象として、人と自然(水域)との共生を探る研究を遂行します。

発行書籍：『里山学講義』(2015年 晃洋書房)

『里山ガバナンスー里山学のひらく地平ー』(2012年 晃洋書房)

『里山学のまなざし<森のある大学>から』(2009年 昭和堂)

『里山学のすすめ<文化としての自然>再生に向けて』(2007年 昭和堂)